

## 平成25年第6回「知事と一緒に生き生きトーク」

- 1 テーマ：誰もが健康で安心して暮らせる地域を目指して
- 2 日時：平成25年11月14日（木）
- 3 場所：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 7階706会議室
- 4 参加者：保健福祉関係団体の代表者等11名
- 5 知事挨拶

県では、現在全ての県民が明るい笑顔で暮らす生き生き岡山の実現を目指し、晴れの国おかやま生き生きプランの策定に取り組んでおり、保健・医療・福祉充実プログラムとして心と体の健康づくりの推進や地域包括ケアの推進、地域を支える医療従事者の育成確保等を重点施策として掲げている。今回のトークでは、これらの施策を推進していくための有意義な意見交換をしたいと考えている。

### 6 意見内容等

- ・医師や看護師等の人材確保が大きな課題となっており、県や大学と協力して人材確保に努めているが、まだ十分な人材確保には至っていないため、今後も引き続き県の協力をお願いしたい。
- ・精神疾患は誰もがかかる可能性のある病気であるにも関わらず、学校や地域で偏見を持たれやすい病気である。病気について少しでも理解をしてもらうため、講演会等を通じて啓発活動を行っているが、県においても、学校や地域など様々な場所で精神障害に対する理解を深める取組をお願いしたい。
- ・知的障害のある人や発達障害のある人は、新しい環境や人に馴染むことが難しいが、地域の方々を集めて食事をしたりゲームをしたりすることで、地域の繋がりを深めていきたいと考えており、民生委員や老人クラブとも協力してやっていきたい。
- ・医療費の抑制や高齢者の介護予防の観点からも、健康づくりというものが重要になってくるが、それぞれの団体や職種が独立して取り組むよりも、医師や運動の専門家、薬剤師、地域の愛育委員などの多くの人々が連携して取り組む方が効果ははるかに大きくなる。

### 7 知事の意見

保健・医療・福祉に携わる各団体の方々から非常に有意義な意見を聞くことができた。行政もそうであるが、ある問題を1つの部署もしくは1つの団体で解決しようとするとなかなか難しいが、それぞれが連携して取り組めば、より良い解決方法が見つかりやすくなる。県としても、今後も各団体の方々と協力しながら保健福祉行政に取り組んでいきたい。